

LINEのマッチング機能を活用した親同士の 助け合いによる子どもの 習い事送迎サービスの導入



Profile

会社名（法人等名）、 地方公共団体名等	富山県朝日町
所属部署名 氏名	住民・子ども課 小谷野 黎
出身地	東京都大田区
専門分野	一般行政職員のため専門分野なし
所属部署での業務内容	<p>【地域交通の維持／確保に係る業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共バス運行事業の運営（あさひまちバスの運行に係る諸業務、国県補助の申請管理、運行业務委託事業者の調整、広報 PR 活動） ・公共交通対策事業の運営（あさひまちエクスプレス運行に係る諸業務、利用促進策の推進、鉄道駅待合室の管理） ・住民参加型移動サービス運行事業の運営（ノッカルあさひまち運行に係る諸業務、こどもノッカル実証実験の運営、広報 PR 活動） ・地域公共交通計画の策定／推進（令和4年度策定予定） ・朝日町 DX プロジェクトの推進（他課所掌の部署横断型プロジェクトにおけるチームメンバー）
現職に至るまでの経歴	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 25 年 4 月～平成 30 年 4 月：交通事業者（神奈川県小田原市）勤務 ※統括会社入社 後にグループのバス事業者へ出向 〈主な業務：路線バスダイヤ編成、スクールバス運営、企業特定輸送運営、沿線美術館委託券販売促進、ホームページ運営〉 ●平成 30 年 5 月～平成 31 年 7 月：映像・デザイン制作事業者（東京都千代田区）勤務 〈主な業務：顧客 CSR 資料等パワーポイント商品制作業務、ホームページ運営、SEO 対策〉 ●令和元年 8 月～令和 3 年 3 月：富山県朝日町地域おこし協力隊 ※公共交通分野 〈主な活動：公共バス利用促進策の企画、新モビリティサービス実証実験の運営補助、行政事務補助〉 ●令和 3 年 4 月～現在：富山県朝日町行政職員 ※地域交通・定住係 〈主な業務：前項のとおり〉
担当として関わるきっかけ	<p>地域交通・定住係として、令和 3 年 10 月に社会実装を果たした住民参加型移動サービス『ノッカルあさひまち』の事業運営に携わり、民間事業者と協働でサービスの推進／拡大を図ってきた。徐々に地域内へサービスが浸透していく中、人口構造に比例した高齢者利用の突出やドライバーの高齢化が事業継続の課題と捉えると共に、子育て層の送迎課題に起因する児童期の選択肢狭小化は人口流出をさらに加速させ、地域交通の規模縮小に繋がる悪循環に陥ると町は考えていた。このような課題に一体的に対処し、子育て層と児童を切り口とした新たな移動サービスを設計することで、地方部では地域交通と疎遠になりがちな若年～中年層の生活課題を解決すると共に、移動課題への関心を持つきっかけを提供したいと考え、本プロジェクトの構想に至る。ベースとなる『ノッカルあさひまち』担当者として、既に連携していた共創パートナーとの関係を一層強化しながら本プロジェクトを主導することになった。</p>
プロジェクトに関わった 中で印象的な事例	<ul style="list-style-type: none"> ・各ステークホルダーへの多様な効用 保護者の送迎課題には様々な背景があり、解決による効用は人によって異なっていた。共働き世帯においては「家事に余裕が生まれた」、二世帯同居の場合は「祖父母への気兼ねが無くなった」など、ヒアリング時の多様な感想が印象に残っている。また、習い事施設においては自社送迎バスで賄えないニーズを拾いきることで、顧客の獲得に繋がっている。交通事業者は、自社タクシー営業の閑散帯で代理運行业務を担うことができるため、本業への影響を抑えながら経営安定化を目指すことができる。まだ実績が多いとは言いがたいものの、各ステークホルダーに多様な効果が生まれていると感じている。 ・児童にとっての貴重な体験 小中学校のスクールバス事業を展開している本町においては、児童が日常生活の中で地域交通に触れ合う機会が乏しく、これまで家族送迎に頼っていた児童は他人の車に乗ることへの不安や不信をある程度抱くと想定していた。しかし、「いつもと違う車に乗り、色々なドライバーと交流できるのが楽しい」という主旨の感想もあり、安全性の担保は最重要ファクターであるが、日常と違う体験を提供することで十人十色の所感を持ち、社交性の向上など成長の糧になっていると感じている。
自由記入欄	<p>実証実験を通じて顕在化したサービスの課題を踏まえ、本プロジェクトをさらにブラッシュアップし、子育て／教育をサポートする持続可能な移動サービスとして社会実装を目指したい。</p>